

令和5年度圏域の事業計画・収支計画

(中部地区)

吉身学区

玉津学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当地区の民生委員・児童委員、福祉協力員等、地区会館と日頃から連携し、地域の高齢者のことについて気軽に相談してもらえる関係を構築する。		○	
	担当地区の高齢者がよく通ったり集まる場所やお店（喫茶店、スーパー、ドラッグストアなど）に地域包括支援センターの周知啓発を行う。			○
2 高齢者の実態把握	地域のサロンに出向いたり、出前講座の時などに地域の高齢者の困りごとを聞き、地域の高齢者の把握に活かしていく。		○	
	基幹包括と連携し、データと高齢者の生の声を分析し検討することで地域の課題を把握する。		○	
3 相談窓口機能	相談内容について事業所内で共有、記録の整備を行い、緊急時には担当者不在でも対応できる体制を整える。		○	
	関係機関に繋ぐ際に、相談者が不安を感じないように伴走型の支援を行い、繋いだ後もフォローしていくようにする。	○		
4 専門的な相談支援	支援困難事例に対し多職種で情報を整理し、様々な方向から検討し課題を明確化した上で支援を行う。そのために基幹包括や関係機関との連携を積極的に行う。	○		
	多頭飼育やヤングケアラーなど、今後増えてくる課題に対して研修に参加したり事例検討するなどして理解を深める。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	出前講座に出かけた際に地域の高齢者の移動や買い物に不便を感じている声を拾い、買い物支援の社会資源を紹介したり地域の会議にて課題について積極的に発言した。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	相談内容に応じて、関係機関や地域の方と連携を図りながら丁寧に対応できている。引き続き、様々な場での周知啓発にて、地域ネットワークの構築等の更なる推進を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関と連携し、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。		○	
	迅速に対応し、虐待につながる背景を多方面から捉え、本人・養護者双方の支援を効果的に行えるよう関係機関と役割分担し、連携して対応する。	○		
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるよう関係機関（特に居宅介護支援事業所）や住民への周知啓発を行う。	○		
	出前講座などで、事例を交えるなどしてわかりやすく、正しい理解ができるように工夫する。		○	
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。		○	
	訪問時やサロン、圏域主催の行事にて消費者被害の有無などの情報を収集し、消費者被害予防の周知・啓発活動を行う。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	権利擁護事業や成年後見制度利用が必要な高齢者に対して、ケアマネジャー等と連携し制度利用の必要性や利点を説明し、利用に繋げていくことができた。ケアマネジャーに対しても制度や進め方などの説明を行うことができた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	虐待、権利擁護事業や成年後見制度の利用について、関係機関と連携しながら対応できている。引き続き、権利擁護や消費者被害についての積極的な周知・啓発を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	個々の支援困難事例の課題を整理し、地域の課題として捉える視点を介護支援専門員と共有できるようにする。	○		
	介護支援専門員が地域資源を活用し円滑に課題解決につなげられるように、多方面からの視点を提案できるような後方支援を行う。		○	
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	「守山市のケアマネジメントに関する基本方針」に基づき、自立支援のケアマネジメント(主体性を持って生活する)について、事例検討等を通して見識を深める。		○	
3 地域におけるネットワーク構築	介護支援専門員と民生委員・児童委員や地域住民との顔の見える関係づくりのために、勉強会や事例検討会の機会をつくる。		○	
	リモートでの会議や勉強会が中部包括より発信できるように環境を整備する。			○
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	ケアマネジャーや民生委員との個別のケース検討を開催する中で、日頃感じている地域の課題(高齢者の住み替え問題や生活困窮など)を共有した。ケアマネジャーと民生委員等地域の支援者との繋がりをつくる機会・仕組みづくりが必要。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	個別ケースで、ケアマネジャーと連携を図り支援できている。今後は、課題として考えている、ケアマネジャーと地域支援者の顔の見える関係づくりが行えるような取り組みを期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	出前講座や認知症カフェなどで在宅医療・看取りについての相談窓口（在宅医療・介護連携サポートセンター）やエンディングノートの普及啓発・活用促進を行う。			○
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、本人・家族が不安なく在宅療養できるような支援体制を構築する。		○	
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	病院との事例検討会や守山顔の見える会に参加し、事例に対する多職種連携の実践を学んだり、顔の見える関係を構築する。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	ケース対応の中でエンディングノート作成を促し、一緒に聞き取りしながら記入したケースが複数あった。個々のケースでのエンディングノートの重要性は説明しやすいが、一般的な普及となると取りかかりにくいテーマでもあり、工夫が必要。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	個々の事例においてエンディングノートを活用できている。引き続き、本人・家族が不安なく在宅療養できるような支援体制の構築を期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症に関する出前講座を通じて、「正しい知識」「早期発見・早期受診」と「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」が普及できるように努める。	○		
	守山市キャラバンメイト、認知症サポーターとの共労を通して顔の見える関係を構築し、情報共有を図る。	○		
2 認知症初期集中支援の推進	認知症初期集中支援チームと連携し、早期に必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより、重症化の予防に努める。		○	
3 認知症の人やその家族への支援	圏域開催の認知症カフェ「こもればCafé」を月1回定期的に開催し、認知症の人やその家族の集う場として活用する。	○		
	玉津学区での「こもればCafé」の開催を目指す。			○
4 その他	圏域内での「チームオレンジ」モデル団体との連携を図る。実際に足を運び協働し課題を共有する。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	玉津学区での「こもればCafé」の開催については、既存のカフェに出前講座をした際に開催についての検証や既存のサロン・カフェの実態把握の必要性を強く感じた。既存のサロンやカフェの実態把握を行い、進め方を検討する。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等において、認知症の周知啓発、支援を実施できている。玉津学区のサロン・カフェの実態把握に努め、実施方法の検討を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	支援困難ケースで地域ケア会議を開催し、関係機関や地域住民とともに課題解決について検討し、地域の課題として取り組めるように働きかける。	○		
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議や日頃の業務の中で感じている地域課題や不足している社会資源を社会福祉協議会と検討する機会を設け、課題を共有する。	○		
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	多頭飼育崩壊のケース検討より、動物支援に対する社会資源の不足を実感した。動物保護団体や県の担当機関との検討から、社協にも協力を依頼し「動物と人の福祉を考える会議」を開催、ペット飼育問題の社会資源創出の検討を行う。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	個別課題の積み上げによる地域課題の検討を進め、高齢者の支援に資する課題の解決の取り組みの検討を多面的に行うことを期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	家族介護教室を5回シリーズ年1回開催し、介護の知識・技術の習得と参加者の交流による介護負担の軽減を図る。	○		
2 家族介護者訪問	家族介護者訪問を行い、介護者の健康状態と介護状況を把握する。特に介護者の精神的負担感や健康状態・受診の状況に注目し、介護者の健康保持を働きかける。	○		
	訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、介護支援専門員の支援につなげる。	○		
3 その他	地域の「介護者のつどい」に参加させていただき、介護者の悩みや要望等を聞き取る。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	家族介護教室の開催や地域の在宅介護者のつどいに参加させてもらうことで介護を行っている家族から直接話を聞いたり交流などを行い、抱えている課題について継続的に相談支援していった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	家族介護者教室を様々なテーマで実施し、参加者の介護知識の獲得につながったと考えられる。引き続き地域特性を捉えた事業展開で介護負担の軽減、虐待防止の促進を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 自立支援・重度化防止等への取組	フレイル予防について、筋力だけでなく口腔・栄養など様々な要因から予防できるように出前講座等を活用し、啓発に努める。		○	
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	自宅内で解決できるサービスだけでなく、地域に出かけるような支援の利用を検討する。そのための地域資源の情報を把握しておく。		○	
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	本人・家族の希望とマッチングを考慮し、公平・中立に事業所選定する。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	自前講座の介護予防教室にて、口腔や栄養などの話も取り入れて様々な角度からのフレイル予防の啓発に努めた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	口腔や栄養の視点も含めた介護予防の啓発が実施できた。今後も、インフォーマルサービスの開発、推進等、介護予防の推進に向けての取り組みを期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 介護予防把握事業	総合相談、訪問などから閉じこもり等で支援を必要とする人を早期に発見し、地域での通いの場への参加を促進する。		○	
	地域のサロン等に参加させていただいたり、民生委員・児童委員などからの情報提供から支援の必要な人を早期に発見し、訪問等で状況把握し支援につなげる。		○	
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室や出前講座などで介護予防を自身で、地域で行えることを普及啓発していく。	○		
3 地域介護予防活動支援事業	高齢者の居場所・介護予防活動の拠点に対して、相談支援や協働して課題解決ができるように支援する。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	介護予防教室の参加者で「この教室以外でも体操やお話の場がないか？」という思いの方々に対して自主グループ活動の立ち上げを提案し支援した（立ち上げまでにはつながらなかった）。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	介護予防教室、出前講座等介護予防の普及啓発を実施できた。今後も引き続き、立ち上げ支援をはじめ、様々な活動の把握、紹介や活動支援等住民主体の活動の支援を期待する。
		○		

守山市基幹型地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所の選定支援にかかる自己評価表

事業所名 守山市中部地区地域包括支援センター

令和 6 年 3 月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)

居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
(福)守山市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	10	・即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (5 件) ・家族の希望を受け圏域包括が調整 (3 件) ・本人の希望を受け圏域包括が調整 (1 件) ・男性 CM が適切と判断し調整 (1 件)
すこやか生活支援センター居宅介護支援事業所	8	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (4 件) ・家族の希望を受け圏域包括が調整 (2 件) ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (2 件)
居宅介護支援事業所しがそせい苑	7	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (6 件) ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (1 件)
またあした居宅介護支援事業所	6	・即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (3 件) ・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (2 件) ・家族の希望を受け圏域包括が調整 (1 件)
医療法人 小西醫院居宅介護支援事業所	5	・即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (3 件) ・本人の希望を受け圏域包括が調整 (1 件) ・家族の希望を受け圏域包括が調整 (1 件)

あいむケアプランセンター	4	・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（3件） ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件）
(特非)ゆうらいふ ゆうらいふ居宅介護支援事業	4	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（2件） ・家族の希望を受け圏域包括が調整（2件）
ケア・サポート愛居宅介護支援事業所	3	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（2件） ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件）
(福)慈恵会 ゆいの里守山居宅介護支援業所	3	・家族の希望を受け圏域包括が調整（2件） ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件）
合同会社セコイアケアプランセンター楓	2	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（2件）
ケアプランなかさと CCS	2	・医療に強い事業所を圏域包括が調整（2件）
おうみの里ほたる	1	・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件）
くらしのサポート華	1	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（1件）
(福)友愛 三宅ケアセンター	1	・要支援者の受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（1件）
野洲すみれ苑居宅介護支援事業所	1	・男性 CM が適切と判断し調整（1件）

<令和6年3月 現在 調整件数 58件>

2 居宅介護支援事業所 4 の情報提供方法や決定の支援について偏りがないか。

(いずれか一つに○)

- ☒ A 公正・中立である
- ☐ B ほぼ公正・中立である
- ☐ C 公正・中立に欠けている

〈全体評価〉

件数としては自法人が 10 件と多いが、利用者・利用者家族に希望を聞くと吉身・玉津学区ということもあり、石田デイサービスセンターの存在を知っておられる人が多く、即応が必要で自法人に頼むことがあった（5 件）。

全体としては申請直後で認定の出ていないケースを紹介することが多く、要支援でも対応してもらえる事業所を探すもなかなか受けてもらえない状況があった。その中でも偏りなく依頼をさせていただいた。

居宅介護支援事業所の選定支援については公正・中立であると言える。

(様式4)

令和5年度収支計算書および収支決算書

守山市（中部地区）地域包括支援センター

(単位：千円)

区分	項目		R5 予算額		R5 決算額		R4 決算額		増減
			金額（円）	積算根拠	金額（円）	説明	金額（円）	説明	R5-R4
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	29,594		29,594		29,594		0
	その他収入		0		0		0		0
	収入合計（a）		29,594		29,594		29,594		0
支出	人件費	正規職員（2人）	15,419	賞与、社保、退職共済 含	15,338	賞与、社保、退職共済 含	14,903	賞与、社保、退職共 済含	435
		臨時職員（3人）	12,068		11,619		10,550		1,069
	事務費	報償費	40	外部講師謝礼等	8	外部講師謝礼等	14	外部講師謝礼等	-6
		旅費	60	外部研修参加費、研修 交通費	8	外部研修参加費、研修 交通費	0	外部研修参加費、研 修交通費	8
		消耗品費	180	事務用品、日用品等	49	事務用品、日用品等	40	事務用品、日用品等	9
		燃料費	70	車両燃料費	33	車両燃料費	26	車両燃料費	7
		印刷製本費	120	コピーカウント料金、 封筒印刷代等	116	コピーカウント料金、 封筒印刷代等	103	コピーカウント料 金、封筒印刷代等	13
		医薬材料費	40	消毒液、マスク等	22	消毒液、マスク等	15	消毒液、マスク等	7
		通信運搬費	550	電話料金、携帯電話料 金、郵送料等	569	電話料金、携帯電話料 金、郵送料等	544	電話料金、携帯電話 料金、郵送料等	25
		保険料	110	自動車任意保険、社協 の保険等	110	自動車任意保険、社協 の保険等	108	自動車任意保険、社 協の保険等	2
		使用料および賃借料	750	公用車、PC、コピー機 リース等	648	公用車、PC、コピー機 リース等	748	公用車、PC、コピー機 リース料等	-100
		委託料	0	振込手数料等	0	振込手数料等	0	振込手数料等	0
		備品購入費	50	事務備品等	0	事務備品等	24	事務備品費	-24
		修繕費	95		0		0		0
									0
	その他雑費	42	お茶代、他諸経費	9	お茶代、他諸経費	2	お茶代、他諸経費	7	
	支出合計（b）		29,594		28,529		27,077		1,452
収支差（a）-（b）			0		1,065		2,517		-1,452

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日および収支決算を記載して下さい。